



真珠の種類

アコヤ真珠



アコヤガイから産出される真珠。生産されるサイズは主に 2mm から 11mm。生産の大半を占めるのは日本であり、他国では僅かではありますが中国、ベトナム、韓国においても生産が行われています。

日本で生産されている真珠のほとんどはこのアコヤ真珠であり、主要生産県は長崎県、愛媛県、三重県。色はおおまかに分けるとホワイ ト、ピンク、グリー ン、ロゼ、クリーム、イエロー、ゴールド、ブルーなどが産出され、形はラウンド、セミラウンド、セミバロック、バロックなど様々な形が採れます。

クロチョウ真珠



クロチョウガイから産出される真珠。生産されるサイズは主に 7mm から 16mm です。生産の大半は仏領ポリネシア（タヒチ）で占められ、クック諸島、ニューカレドニア、日本では沖縄県の石垣島や西表島でも生産が行われております。

色はブラック系、ブルー系、グリーン系、レッド系、ブラウン系、イエロー系、ホワイ ト系が産出され、形はラウンド、オーバル、ボタン、ドロップ、サークル、バロックなどバリエーション豊かな形の珠が採れます。

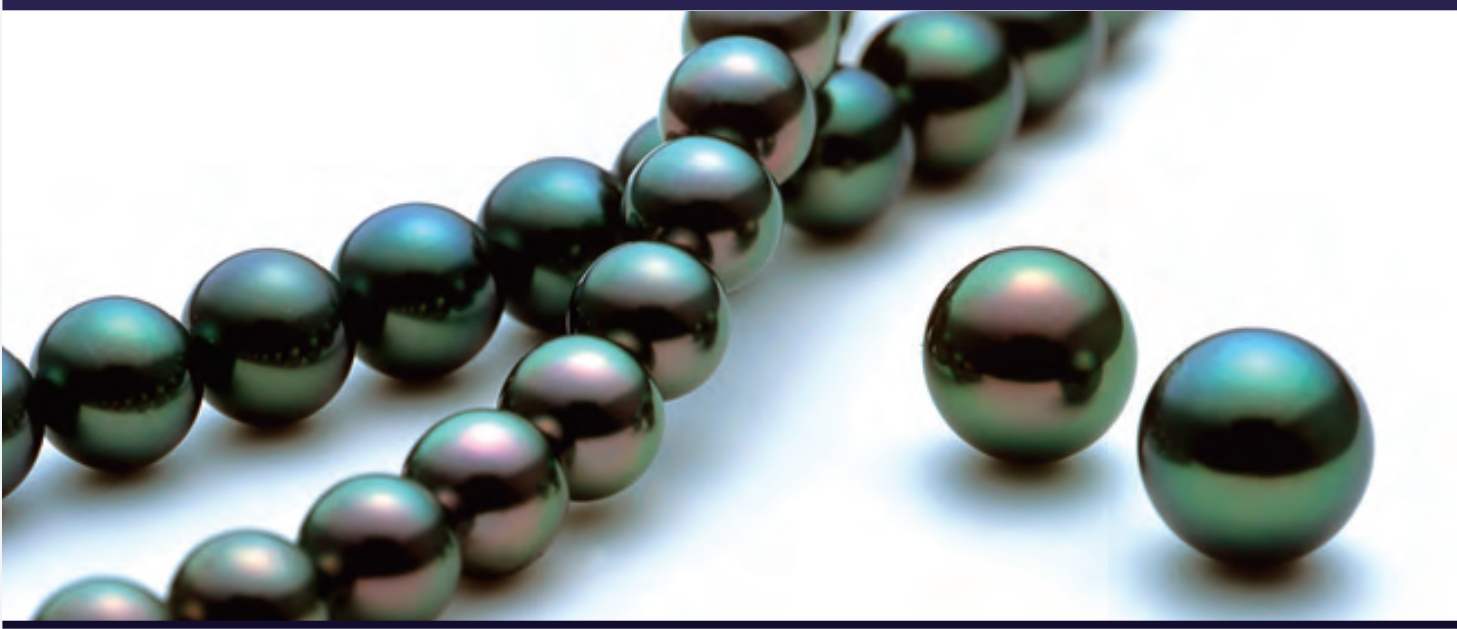
シロチョウ真珠



シロチョウガイから産出される真珠。生産されるサイズは主に 8mm から 18mm。主要生産国はオーストラリア、インドネシア、フィリピンにて、この他にも マレーシア、ミャンマー、タイでも生産が行われ、日本では鹿児島県奄美大島、沖縄県にて生産されています。

色はホワイ ト系、シルバー系、ブルー系、ゴールド系、イエロー系、クリーム系などが産出され、形はクロチョウ真珠と同様にラウンド、オーバル、ボタン、ドロップ、サークル、バロックなどバリエーション 豊かな形の珠が採れます。

シロチョウ真珠は生産国によって特徴が異なり、オーストラリア産はサイズが全体的に最も大きく、色ではホワイ ト系やシルバー系が中心に採れます。インドネシアやフィリピン産はオーストラリア産に比べサイズは小ぶりですが、ゴールドやイエローの色の産出比率が高いのが特徴です。以上 の様にシロチョウ真珠は産地の海の環境によって特徴的な珠が産出されます。



主な品質評価項目

形



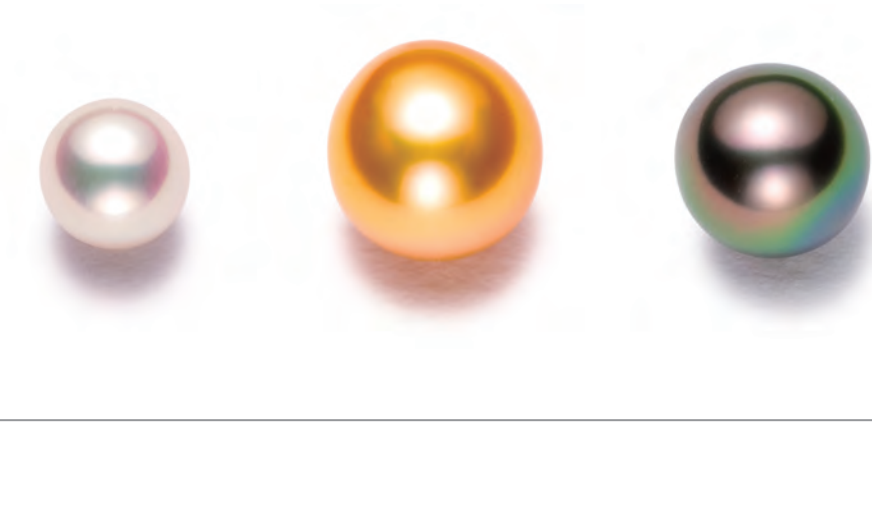
形においては真円（パーフェクトラウンド）に近いものほど産出量が少なく希少性が高いため、評価が最も高くなり価値があるとされます。また、変形とされる形においても特にシロチョウ真珠に見られるティアドロップシェイプと呼ばれる整った涙型の形をした真珠も生産数の稀少性から、評価が高くなります。

キズ



真珠の表面に見られるへこみや突起、シワなどを「自然キズ」と呼びます。真珠のポツンとしたへこみはエクボと例えられ多くの消費者様も一度は耳にしたことがあるとは思いますが、養殖後に行われる様々な加工や処理途中に出来るキズを「加工キズ」と呼びます。品質評価ではキズが少なく艶やかな珠になればなるほど、評価は高く希少性の高い品となります。品質評価ではキズの数、位置、大きさ、キズの種類を見極め評価されます。

色



真珠の色の品質評価は各真珠の種類によっても大きく異なります。各真珠の種類の中でも、産出量が極めて少なく稀少とされる色が高く評価される傾向や時代のニーズなどによっても評価が変わる傾向があり、流動的な評価となります。

マキ



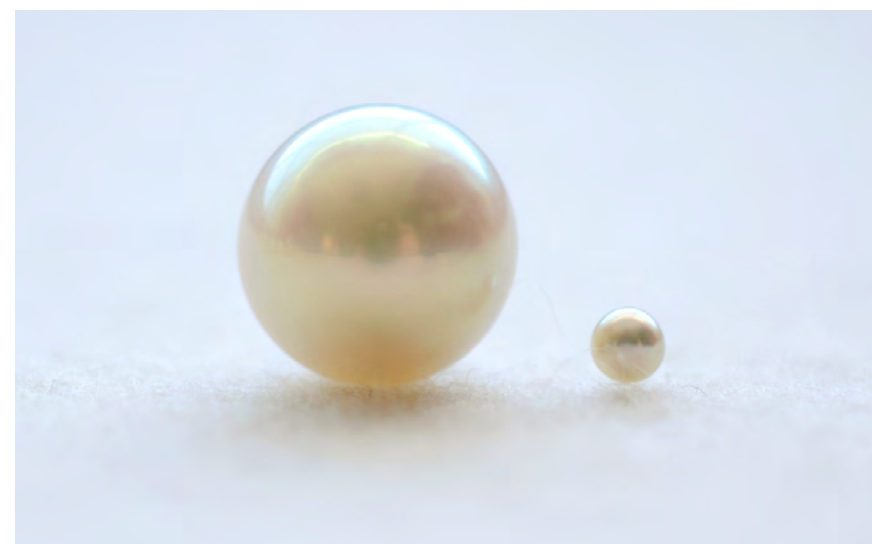
真珠の「マキ」とは真珠層がどのように・どのくらいの厚さで形成されているかを示します。質の良いキメの細かい真珠層によって形成された真珠には、真珠の内部から発する深い輝きをご覧いただけます。例え、マキの厚さが良くてもテリの無い真珠は、真珠層の質が影響を与えているためです。そのため、マキの評価の高い真珠とは質の良い真珠層によって形成され、真珠の内部に深い光沢を持つ珠となります。マキの評価は熟練の目が必要となる要素です。

テリ



テリとは真珠の持つ光沢や輝きを示します。前述したようにマキの良い真珠には真珠の内部に特有の干渉色をご覧頂くことができます。干渉色は光の屈折や透過によって見える色であり、マキと密接な関係があります。テリの評価が高い商品は【マキ】と同様、質の良い真珠層によって形成されていることが条件となり、真珠内部に強い干渉色が見える珠を示します。

サイズ

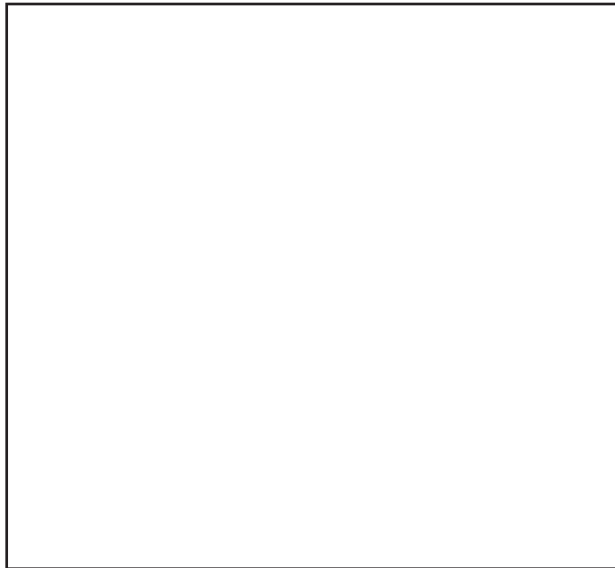


サイズは真珠の品質要素ではありませんが、価格や希少性において重要な要素となります。珠のサイズが大きくなればなるほど、産出量が減少していき希少性も増す点から評価が高くなります。



ネックレスの種類と呼称

カラー



ドッグカラーともいわれ、首輪のように首の中程でぴったり留まる長さのこと。30～33センチ程度の長さを示す。

チョーカー



現在、ネックレスの基本の長さとしてされており、40～45センチ前後が一般的。冠婚葬祭から日常使いまで一般に最も流通の多い長さです。

マチネ



チョーカーの1.5倍の長さとなる60～65センチ、本来は昼間用であったが夜会にも使用でき、フォーマル、ビジネス、カジュアルとさまざまなシーンで着けられる便利な長さです。

オペラ



チョーカーの約2倍の80～90センチの長さのネックレスです。本来は夜会用。2連使用などアレンジがしやすく人気の長さです。

ロープ



チョーカーの約3倍の120～130cmの長さとなるロングネックレス。二連や三連での使用は勿論のこと長さを生かした様々アレンジが楽しめます。



メンテナンス方法

長くご使用頂くためには、
日々の心掛けが非常に大切です。

真珠は宝石の中でも特にデリケートな宝石です。そのため、末永くお召し頂くためにも、適切な保管方法とメンテナンス方法が必要となります。

真珠は極度な光線下や、熱、湿気の環境下に放置しない様心がけて頂くことが重要です。保管につきましては、宝石箱等に収納して頂き、他の宝石類と接触しないよう保管下さい。また、頻繁にお召し頂くことがない方は、時々宝石箱から取り出し真珠を柔らかいクロス等で軽く磨き上げることをおすすめ致します。

通常、お召し頂く範囲で最も重要なことがメンテナンスで、特にお召し頂いた後は真珠表面に汗が付着した状態となっております。汗に含まれる微量な酸は放置した状態のままお召し頂くことで蓄積し徐々に真珠を痛めます。お召し頂いた後は柔らかいメガネ拭きなどのクロスで真珠を磨き上げて頂くことで、真珠にとって最適な管理が出来ます。

また、ネックレスの糸やワイヤーがゆるんできた場合、イヤリングやピアス、リングなど珠が外れそうな場合などは、ご購入店又は信頼出来る宝飾店にご相談頂くことをおすすめ致します。

真珠は日々のメンテナンスが最も重要です。末永くお召し頂く上でも是非実行頂ければと思います。